

2025年7月10日
東銀リース株式会社

社会的インパクト不動産ファンド「QOL ファンド」への参加について

東銀リース株式会社（東京都中央区、代表取締役社長 藤末 浩昭、以下、「当社」）は、日本初の社会的インパクト不動産ファンド「QOL ファンド」（以下「本ファンド」）に融資金融機関の1社として参加しましたので、お知らせいたします。

本ファンドは、「Quality of Life（生活の質）」の向上をテーマに、保育園・賃貸住宅・シェアオフィス・ホテルの4つのアセットクラス、11物件で構成されており、生活する人や地域社会にポジティブな効果をもたらす社会的価値の創出・定量評価および景気変動・金利上昇といった変化に左右されにくい収益基盤の両立を目指しています。

当社は、2025年4月からスタートした第10次中期経営計画において、不動産ファイナンスを注力ビジネス領域として掲げてあります。待機児童問題といった社会課題解決に貢献する保育園等の社会的インパクト不動産へのファイナンスの取組みはソーシャルプレミアムを定量化・可視化することで中長期的に拡大見込の潜在的なマーケットと認識しており、このような取組みを通じて、今後も社会課題の解決に貢献してまいります。

【本ファンド概要】

名称	QOL ファンド 1号
運用期間	2025年6月30日から5年間（予定）
総資産規模	約150億円
融資対象	保育園／住宅／シェアオフィス／ホテル（計11物件） 「Quality of Life（生活の質）」の向上をテーマに、社会的価値と収益性の両立を目指しており、上記4つのアセットクラスからなる計11物件で構成。

以上

【本件に関するお問い合わせ先】
東銀リース株式会社
不動産ファイナンス部
TEL：03-3537-8054